

こども木育講習

一緒に木で遊ぼう！

(有) 室工務店



(有) 室工務店 ayaha



『木育』とは

2004年に北海道庁が主導でスタートした「木育プロジェクト」によって提言された教育概念で、幼少期から木や森林と触れ合い親しみを感じることで豊かな心を育てる目的で始められました。

触れる・感じる

創る・楽しむ

知る・理解する・行動する

この3つが一体となって、肌で“木”魅力を実感し、幼児期から原体験として触れ合うことで、豊かな暮らしづくりや森の活性化に貢献できる人材を増やすことが一番の目的です。

☆「木育」かきくけこ☆

か

環境を守る「木育」

き

木の文化を伝える
「木育」

く

暮らしに木を
取り入れる「木育」

け

経済を活性化させる
「木育」

こ

子どもの心を豊かに
する「木育」



☆「木育」の主な効果☆

五感が刺激され、感性が広がる。



リラックス効果や情緒安定



環境を愛し、育てる人材の育成



森林などの自然や木材と触れ合うことで、**五感が刺激**されて感性や物事への視野が広がる効果が期待できます。特に、温度変化に敏感な幼い子供の場合は、人肌のような温もりのある質感に触れることで**心地よさ**を感じ**好奇心**や**集中力**を養うと言われています。

また、木の質感だけではなく匂い成分にも、**リラックス効果**があると立証されており、大人にも**情緒を安定**させる作用が期待できます。



「しが木育」

滋賀県では子どもから大人まで全ての世代を対象に木とふれあい、木に学び、木と生活することで、暮らしと森と琵琶湖をつながり、理解し豊かな心を育む取り組み

- 「さ」 触ってみよう木のおもちゃ
- 「し」 知ってほしいな滋賀の森林
- 「す」 好きになってね木製品
- 「せ」 生活に活かそう木の魅力
- 「そ」 育て守ろう木の文化

木育のすすめ 木育活動 さしすせそ

さ 触ってみよう木のおもちゃ 木と「ふれあい」ことで、木のぬくもりや肌ざわり、木目の美しさ、香りなどを感じることが、木育の入口です。 	す 好きになってね木製品 木は「ものづくり」を業とする身近な材料で、木材を利用した工芸品により、創造力を養い、愛着を育みます。 	そ 育て守ろう木の文化 日本では古来から木を使い、木に親しんできました。こうした「木の文化」が、人と自然に優しい社会をつくります。 
し 知ってほしいな滋賀の森林 木材を利用することで、森林を大切に思う「こころ」を育み、人と森林が繋がります。 	せ 生活に活かそう木の魅力 地域で培うことのできる資源である木材を利用することで、「木の良さ」を活かして、健康的な生活環境が創造できます。 	 「木を使う」ことは、森林資源の循環利用により、「森を守る」ことにつながります。木を使って、森を守って下さいね。





- 木の積み木【杉、桧、松】
木の香り、手触り、樹種による違いを
比べる
- かんなくずの触り心地の違い
(におい袋を作ること可能)
- かんなくずプール
- 木のおもちゃ
- 木に関する絵本
- 木に関するお話
- いす作り



